

現在

市民の皆さんにインタビュー
こんな広報なすしおぼらがいい!



若い人がたくさん載っていると思います。同年代で頑張っている人を見ると「自分も頑張ろう」と思え、紙面に活気が感じられます。



不定期でもいいので「子育て版広報誌」ができるといいですね。読者層によって必要な情報が違うので、結構ニーズがあると思うのですが…。



素敵なお店の情報が載っているといいですね。働いている人の人柄やこだわりを知ると、「試しに行ってみよう」と思うきっかけになります。



市内の名所や歴史などを取り上げてみてはいかがでしょうか。何気なく住んでいるまちの中にも、素敵な魅力が隠されていると思いますので。

読者の声から探る いま 広報誌の現在

市民を対象に行った広報アンケートをもとに、これまでの広報なすしおぼらの現状を分析しました。

認知度は9割 満足度は7割

インターネットが普及し、その影響力が増す現代でも、広報誌を手取る人は約9割と多いようです。しかし、内容に満足していると答えた人は約7割にとどまっています。満足していないと答えた人の意見を見ると「文章が硬く冷たい印象を感じる」「自分には関係のない記事が多い」「活字が多く、読むのがストレス」といったものが目立ちました。

キーワードは「メリハリ」

Q3の改善ポイントに関する問いに対しても「写真・図・イ

ラストなどを増やす」「見出しを大きくする」「カラーページを増やす」など、メリハリがあり、視覚的に分かりやすい紙面を望む声が多数を占めました。その他、アンケートの自由意見や広報モニターからもさまざまな改善ポイントに関する意見をいただきました。

ページの 신설を望む声

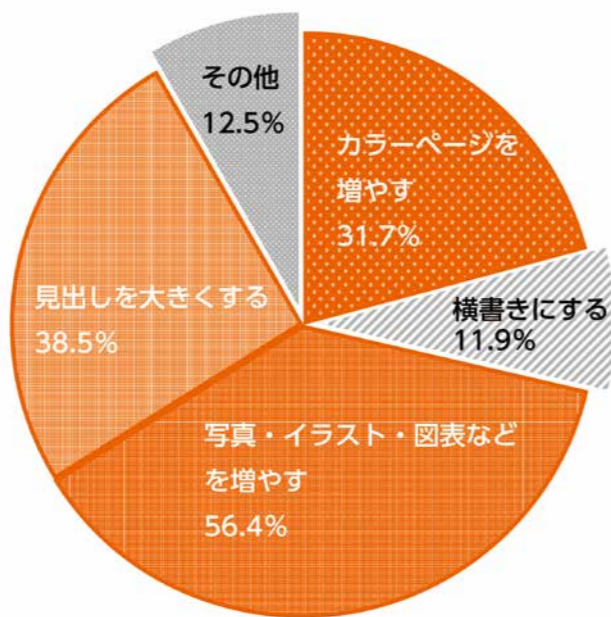
皆さんから「こんなページがあったらいい」という意見も寄せられました。お店の紹介や子どもの活躍、歴史の紹介、パズルや脳トレなど、ユニークなものも。これからの広報誌づくりの参考とさせていただきます。

アンケートの概要

- 調査方法 20歳以上の計1,000人に調査票を郵送 ※20~60代の年代ごとに男女各100通ずつ調査票を送付。
- 調査時期 平成25年11~12月
- 有効回答数 381人

Q.3

どのように改善するとより分かりやすく読まれる広報誌になると思われますか。



アンケート編

こんなページがあったら…

- ・家族紹介 ・市内のお店の紹介
- ・年齢別のコーナー(育児ページ、介護ページなど)
- ・学校行事や子どもの活躍を取り上げるページ
- ・市内の歴史を紹介 ・パズル、脳トレコーナー
- ・季節料理のレシピ紹介
- ・読者の声(意見・感想など)を掲載するコーナー

Q.1

読んだことがありますか

読んだことがない 2.6%

ほとんど読まない 7.7%

ときどき読んでいる 25.3%

毎回読んでいる 64.4%

Q.2

内容に満足していますか

不満 2.7%

やや不満 5.1%

どちらでもない 23.0%

満足 11.9%

ほぼ満足 57.2%

自由意見 (広報モニターの意見含む)

- ・文字が多いと読む気がなくなるので視覚的に訴える工夫を
- ・文字の大きさ、ページの構成が単調で飽きやすい
- ・抽象的で内容がわかりにくいので具体的な記載を
- ・記事で伝えたい大事なポイントは色や太字で強調すべき
- ・国の統計ではなく、市の状況がわかる統計を使うべき
- ・記事横にバーコードなどでリンクを貼ってほしい

- ・表紙が毎回同じように思える
- ・内容を細かく書きすぎて読みづらい
- ・要点がわかるようシンプルな記載に
- ・書体を変えるなどして紙面にアクセントを
- ・市民が参加できる企画を取り上げてほしい
- ・広報誌とホームページの連携を考えるべき